

日 教 庶 第 4 号

令和5年(2023年)4月7日

教育委員 各位

日野市教育委員会

教育長 堀川 拓郎

令和5年度第1回教育委員会定例会の開催について

日野市教育委員会告示第1号により、下記のとおり令和5年度第1回教育委員会定例会を開催します。定刻までに御参集ください。

開催日時

令和5年(2023年)4月13日(木) 午後2時

開催場所

教育委員会室(506会議室)

案件

議案

- 第1号 令和5年度日野市教育委員会評価委員の委嘱について
- 第2号 第33期日野市社会教育委員の委嘱の専決処分について
- 第3号 第10期日野市立教育センター運営審議会委員の任命の専決処分について
- 第4号 教育委員会職員の懲戒処分及び措置の専決処分について

請願

- 第5-1号 文部官僚が経団連副会長＝中教審会長らの言いなりで、『次期教育振興基本計画答申』に“愛国心、日本人の美徳”等加筆した、その誤りを市立小中に正確に伝える等、求める請願

報告事項

- 第1号 令和5年第1回日野市議会定例会の報告
- 第2号 令和4年度就学援助申請者数及び認定者数
- 第3号 要綱の制定及び改廃の報告(令和5年1月～令和5年3月)
- 第4号 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告(令和4年10月～令和5年3月)



議案第1号

令和5年度日野市教育委員会評価委員の委嘱について

上記議案を提出する。

令和5年4月13日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

《提案理由》

日野市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価実施要綱第3条の規定に基づき、令和5年度日野市教育委員会評価委員を委嘱するものです。

令和5年度日野市教育委員会評価委員

《令和5年度日野市教育委員会評価委員 名簿》

	氏名	住所	備考
1	山口 仁一		ヤマグチロボット研究所代表
2	蟹江 杏		画家

《関係法令》

日野市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価実施要綱

第3条 教育委員会は、点検及び評価を行うに当たり、その客観性を確保するために、教育に関し学識経験を有する者の意見を求めるものとする。

- 2 学識経験者は、学校教育及び生涯学習に関して識見を有する者2名をもって充てる。
- 3 学識経験者は、教育委員会が委嘱する。
- 4 学識経験者には、予算の範囲内で謝礼を支払う。

議案第2号

第33期日野市社会教育委員の委嘱の専決処分について

上記議案を提出する。

令和5年4月13日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

《提案理由》

日野市社会教育委員の設置に関する条例（昭和33年条例第26号）第2条の規定に基づく委嘱について、教育委員会に諮る時間的余裕がありませんでした。そのため教育長専決により委嘱を行いましたので、報告し承認を求めるものです。

第33期日野市社会教育委員

《日野市社会教育委員 解嘱者》

番号	氏名	住所	解嘱理由	期
1	松田 純子		一身上の都合による	2

解嘱日 令和5年 3月31日

《日野市社会教育委員 委嘱者》

番号	氏名	住所	所属	期
1	橘 弘志		実践女子大学 生涯学習センター長	新

任期 自 令和5年 4月 1日
至 令和6年 4月30日

《関係法令》

日野市社会教育委員の設置に関する条例

第2条 委員の定数は 10 人以内とし、次に掲げる者の中から教育委員会が委嘱する。

- (1) 学校教育の関係者
 - (2) 社会教育の関係者
 - (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
 - (4) 学識経験者
 - (5) 公募による市民
- (平成 25 条例 37・全改)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、特別な理由があるときは、任期中においても解嘱することができる。

2 前項の任期は、委嘱の日から起算する。

3 委員が欠けたときは、補欠委員を置くことができる。補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

議案第3号

第10期日野市立教育センター運営審議会委員の任命の専決処分について

上記議案を提出する。

令和5年4月13日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

《提案理由》

日野市立教育センター設置条例(平成15年条例第46号)第9条の規定に基づく任命について、教育委員会に諮る時間的余裕がありませんでした。そのため教育長専決により任命を行いましたので、報告し承認を求めるものです。

第10期日野市立教育センター運営審議会委員

《日野市立教育センター運営審議会委員 解任者》

番号	氏名	住所	解任理由	期
5	小川 真由美		人事異動のため	1
6	和田 栄治		人事異動のため	2
7	馬場 章夫		人事異動のため	1
8	小林 真		人事異動のため	1

《日野市立教育センター運営審議会委員 任命者》

番号	氏名	住所	備考	期
5	石川 誠		日野市立小学校長会 (学校教育関係者)	新
6	高橋 康則		日野市立中学校長会 (学校教育関係者)	新
7	長崎 将幸		教育部参事 (教育行政機関関係者)	新
8	田中 洋平		教育部参事 (教育行政機関関係者)	新

任期 自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

《日野市立教育センター設置条例》

(審議会の委員)

第9条 前条に規定する審議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、10人以内とし、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱又は任命する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 社会教育関係者

- (3) 教育行政機関関係者
- (4) 学識経験者
- (5) その他教育委員会が必要と認める者

(委員の任期)

第10条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前条第1号から第3号までに掲げる者から選出された者の任期は、その在職期間とする。

3 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

議案第4号

教育委員会職員の懲戒処分及び措置の専決処分について

上記議案を提出する。

令和5年4月13日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

請願審査

請 願 番 号	請願第5-1号
受 付 年月日	令和5年3月28日
件 名	文部官僚が経団連副会長＝中教審会長らの言いなりで、『次期教育振興基本計画答申』に“愛国心、日本人の美徳”等加筆した、その誤りを市立小中に正確に伝える等、求める請願
請願者 住 所 氏 名	

日野市教育委員会御中 2023年3月28日(火)提出

文部官僚が経団連副会長＝中教審会長らの言いなりで、『次期教育振興基本計画答申』に“愛国心、日本人の美徳”等加筆した、その誤りを市立小中に正確に伝える等、求める請願

教育行政研究会

受付
取次第
05.3.28

1 請願の背景

月刊『紙の爆弾』2023年5月号の、教育ジャーナリスト・永野厚男さん執筆記事に一部加筆した、以下を読み込んで頂いた上で、「2」の「請願事項」を実行、又は回答を頂きたい。

経団連副会長の言いなり 文科省が「教育振興計画」に 国家主義を3箇所も加筆

教育ジャーナリスト・永野厚男

中央教育審議会(文部科学大臣の諮問機関)の渡邊光一郎会長(当時。4月16日に70歳)は2023年3月8日の総会で、次期教育振興基本計画(改悪教育基本法で政府に策定を義務付け、全国の教育委員会を縛る。以下、計画)の答申を築和生(やなかずお)副大臣(4月22日に44歳)に手交した。

「社会の幸福」と共に本来「個人の幸福、生きがい」を意味する「Well-being(ウェルビーイング)」を、答申は「コンセプトだ」とする一方、“国を愛する態度”など国家主義を3箇所強制。矛盾している。

計画を審議した部会の当初の資料には、“国を愛する態度”は皆無。だが2022年11月22日の第10回部会で、委員の吉田信解(しんげ)埼玉県本庄市長(55歳)が、「日本国をしょっていきくことを書き込むべき。地域からいきなり世界に行くのでない。日本国という

文言が少な過ぎる」などと発言。文科省総合教育政策局政策課の森友浩史(ひろし)課長(50歳くらい)と川村匡(ただし)教育企画調整官(43・44歳くらい)は12月12日、第11回部会に出した答申素案の「グローバル社会における人材育成」の項に、“国を愛する態度”を加筆した。

今年1月13日の『審議経過報告』の「伝統文化教育の推進」の項にも、森友・川村両氏は「日本人としての美徳やよさを生かし」という、外国人児童・生徒への配慮を欠く、排外的・国粹主義的な文言を加筆した。これに対し1月20・23日の団体ヒアリングで、日本教職員組合(日教組)は「外国につながる子どもが増加し続けている実態をふまえ(略)価値の押し付けにならないよう留意する必要がある」と述べる一方、反日教組の全日本教職員連盟(全日教連)は“美しい日本人の心を育てる。国を愛する心”を主張。森友・川村両氏は日教組の提案を無視し、吉田氏や全日教連の主張に偏し、加筆したので。

ところで第1次安倍晋三政権は06年、国会周辺で連日、「国家権力による“国を愛する態度”の強制は、国家権力による思想・良心・信教の自由の侵害を禁じる憲法第19条・20条違反だ」と訴える大規模な反対のデモ・集会が続く中、反対意見を無視し、教育の“目標”に“国を愛する態度”を盛り込む等、教育基本法改悪を強行した。

渡邊氏は2月24日までの計14回の部会で教回(3月8日の総会でも)、「(“国を愛する態度”を強制する、改悪)教育基本法の(第2条の)“目標”の実現を目指すことは、教育の『不易』、普遍的使命だ。社会や時代の『流行』の中で、我が国の教育という大きな船の羅針盤となるもの。答申に(改悪)教育基本法の条文記載を」などと主張。森友・川村両氏は2月24日、答申案の最初の方の「(1)教育の普遍的な使命」にも、“国を愛する態度”を加筆してしまった。

「30年のウェルビーイング達成」を目標としている、経済協力開発機構(OECD)の『Learning Compass(ラーニング・コンパス。学びの羅針盤)2030』は、「生徒が教師の決まりきった指導や指示をそのまま受け入れるのではなく、未知なる環境の中を自力で歩みを進め、意味のある、また責任意識を伴う方法で、進むべき方向を見出す必要性」(仮訳)を示し

230328日野市教委提、請願1頁

ている。文科省が「大綱的基準として教育課程編成に法的拘束力を持つ」と称する学習指導要領の総則や社会、道徳、特活等において、「国を愛する態度・心情」を強制しているのは、OECDが批判している「教師の決まりきった指導や指示」そのものだ。この仮訳は、指導要領を作る文科省教育課程課のもの。同省や中教審は支離滅裂ではないか。

教育基本法改悪後、財界からの中教審会長は三村明夫経団連副会長(新日本製鐵会長)、北山禎介(ていすけ)経済同友会教育問題委員会委員長(三井住友銀行会長。以上、役職は当時)、経団連副会長の渡邊氏(第一生命ホールディングス会長)の3名もいる。

3月15日の第12期中教審の初の総会では、京都市立高校校長出身の荒瀬克己教職員支援機構理事長が新会長となった。一方、副会長には橋本雅博経団連教育・大学改革推進委員長(住友生命保険会長)が、新任委員なのに就任している。

ロシアのプーチン政権は小学生に「愛国者は祖国のために武器をとれ」「死ぬのは怖くない」等、「愛国心教育」を一層強化している(【注1】参照)。傘下に軍需産業を多く持つ経団連(【注2】参照)の幹部が中教審の有力メンバーになり、「愛国心教育」を強制している、悪い流れを変える必要がある。

【注1】 本会が日野市教委宛、22年5月2日(月)提出した「堀川拓郎氏の教育長就任を機に、国家権力の政策よりも個人(児童・生徒一人一人)の人権の方を大切にする教育行政とするよう求める請願」に、

——2006年11月27日の参院教育基本法特別委員会で、当時の伊吹文明・文部科学大臣(1938年1月9日生の85歳。自民党衆院議員を12期で引退)は、「国を愛する態度」の教化が、「国防教育」(憲法改正草案なるものが「日本国民は、国《略》を誇りと気概を持って自ら守れ」と強制する、憲法違反の「国防の義務」なるもの(育鵬社の中学公民教科書も明記))に直結すると実質、受け取られる答弁をした。——

と明記した通り、日本の保守系政治家(政治家の答弁には、文部官僚も関与するゆえ、文部官僚も同罪)は、ロシアのウラジーミル・プーチン容疑者(70歳)と同じ反・生命尊重教育の偏向思想を持っている、と言える。

【注2】 経団連は、傘下に軍需産業を多く持ち、そのトップを委員長に「防衛産業委員会」なるものを作り、毎年タカ派学者の講演を含む総会を開いたり、防衛相に面会し軍拡の提言を出したりしている。

2022年11月25日(金)23:00の日本経済新聞社『日経電子版』(抜粋)は

——経団連は、例年10月に政治献金の判断基準となる主要政党の政策評価を公表する。21年は岸田文雄首相に強いリーダーシップを要請。自民を中心とする与党を8年連続で「高く評価できる」とし、会員企業に与党への献金を呼びかけた。／総務省によると、自民党の政治資金団体「国民政治協会」(国政協)に100万円超を寄付した企業・団体は約240。このうち2千万円超は26社・団体に上った。——

と報じている(2021年10月4日(月)18:09の『産経ニュース』も同内容の報道)。

このように経団連は、特定の保守政党を支持する圧力団体であり、経団連副会長が中教審会長を務めるのは、「法律に定める学校は、特定の政党を支持し、又はこれに反対するための政治教育その他政治的活動をしてはならない」と規定した教育基本法第14条2項に反する、つまり教育の政治的中立性の上で問題があるのではないか。

2 請願事項

「1」の「請願の背景」を踏まえ、以下の「2-1」～「2-6」を、

(1)貴教委から管下の小中学校に、(副)校長会や教務主任会、初任研等で伝える

(2)改悪教育基本法の第17条2項が地方公共団体の努力義務としている「政府の教育振興基本計画計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画」を、貴教委が「定める」際、最大限尊重する

(3)改悪教育基本法の第17条2項が地方公共団体の努力義務としている「政府の教育振興基本計画計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画」を、都教委が「定める」(都教委は「東京都教育ビジョ

230328日野市教委提、請願2頁

ン”と称しており、3月30日(木)に“第5次東京都教育ビジョン第1回検討委員会”を開催)際、最大限尊重するよう、都教委にしっかりと伝える

(4)『次期教育振興基本計画答申』を出した文科省に、「反対の声がある」という意見書を出す

——よう、強く求める。

2-1 「1」の「請願の背景」にある通り、中教審が3月8日の総会を出した『次期教育振興基本計画の答申』は、口先では「一人一人が多様な幸せを実現できる、人間中心の社会」「共生社会の実現」「二人二人の豊かで幸せな人生」等、Well-beingに関連する美辞麗句を掲げる一方、“国を愛する態度”(ロシアや戦前・戦中の日本のように「祖国のため」に自己を犠牲にしかねない思想)を、児童生徒にindoctrinationしようとしている、答申の矛盾や支離滅裂さ、危険な思想。

2-2 「1」の「請願の背景」には紙幅の関係で載せられなかった件であるが、『答申』は、“学制150年”を全面肯定しているけれど、少なくとも戦前・戦中の日本は“教育勅語”や大日本帝国憲法下の国家主義・軍国主義教育であるゆえ、“学制150年”を全面肯定する文科省・中教審の歴史認識は誤っている、という事実。

2-3 本会は全14回の中教審教育振興基本計画部会を全て傍聴・取材したが、問題の人物である文科省総合教育政策局政策課の川村匡教育企画調整官が2022年8月23日時点の部会に出した、キーワードのマッピングには、(残念ながら前記“学制150年”は載せてしまったが、)「平和・個人の尊厳・民主主義・生命尊重」という語を明記する一方、“国を愛する態度”という国家主義や、「日本人としての美德やよさを生かし」という外国人児童・生徒への配慮を欠く排外的・国粹主義的な文言、はなかった。

しかし川村氏が、当時会長だった渡邊光一郎氏の言いなりで、また団体ヒアリングでの日教組の「価値の押し付けにならないよう留意する必要がある」という意見(更にはパブコメでの本会等の反対意見)を一顧だにせず、反日教組の全日教連や吉田信解氏の主張に偏し、国家主義や排外的・国粹主義的な文言を

加筆してしまった、という事実。(背景に保守系政治家の介入があるか否かは、現時点では不明。闇の中だ)

2-4 「国家権力による個々人の思想・良心・信教の自由への侵害」を禁じる憲法第19条・20条違反だ」という点で、「2-3」と共通するが、“国を愛する態度”は、06年の教育基本法改悪案の国会上程前、自公の保守系政治家らが毎週早朝、議員会館での密室協議で盛り込んでしまった、という闇の中で大問題の政策を決めてしまう、ロシアのようなやり方。

2-5 「1」の「請願の背景」が暴いた通り、吉田信解氏は「地域からいきなり世界に行くのでなく」と言う。しかし地域でボランティア活動していた人や医師などが、日本国・政府なんかを通さずカンボジアやアフガニスタン等に行き、復興や地雷除去等の活動をしている、というケースは、日本国際ボランティアセンターの人たちや、亡くなった中村哲医師の活躍等、枚挙に暇(いとま)がない。従って吉田信解氏の主張は誤っている、という事実。

2-6 「1」の「請願の背景」が引用する、「30年のウェルビーイング達成」を目標としている、経済協力開発機構(OECD)の『Learning Compass 2030』は、「生徒が教師の決まりきった指導や指示をそのまま受け入れるのではなく、未知なる環境の中を自力で歩みを進め、意味のある、また責任意識を伴う方法で、進むべき方向を見出す必要性」(仮訳)を提唱している。

この「教師」を「創意工夫を凝らしたり、児童生徒の思想・良心・信教の自由を大切にしたりせず、文科省・都教委の言いなりになってしまった時の教師」と読み替えた上で、『Learning Compass 2030』のこの引用部を周知すべきこと。

3 「請願の背景に関連する重要な情報

後日、送信するのでご覧頂きたい。

団塊の世代の元教職員のブログ『パワー・トゥ・ザ・ピープル!! アーカイブ』も、電子版を掲載して下さいます。

230328日野市教委提、請願3頁(了)

報告事項第1号

令和5年第1回日野市議会定例会の報告

このことについて、次のとおり報告する。

令和5年4月13日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

令和5年 第1回日野市議会定例会の報告

1. 会 期 2月24日(金)～3月22日(水) 27日間

2. 一般質問 質問者 23名(うち教育委員会関係 11名)
 質問件数 41件(うち教育委員会関係 17件)
 *教育委員会関係一般質問等要旨 **別表1**のとおり

3. 議 案 市長提出議案 31件(教育委員会に関するもの 2件)
 議員提出議案 2件(教育委員会に関するもの 0件)

《市長提出議案》

(1) 令和4年度日野市一般会計補正予算(第13号)(可決)

	(一般会計)	(うち教育費)
補正総額(歳入歳出)	195,477千円	282,943千円
予算総額(歳入歳出)	78,386,525千円	7,990,249千円

※教育費内訳 **別表2**のとおり

(2) 令和5年度日野市一般会計予算(可決)

	(一般会計)	(うち教育費)
予算総額(歳入歳出)	68,651,000千円	8,049,862千円

※教育費内訳 **別表3**のとおり

4. 請願 5件(教育委員会に関するもの 1件)

(1) 公立幼稚園(第四幼稚園)閉園計画に関する請願 (不採択)

令和 5 年 第 1 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
佐藤 琢磨 議員	一般質問	【パートナーシップ制度の導入について】 ・教育現場の性教育においてどのように性の多様性を教えているのか。 ・中学校の標準服の配慮について	教委部参事 (教育指導)	<ul style="list-style-type: none"> ・市立学校では、学習指導要領と東京都教育委員会作成の性教育の手引に基づき命の教育や性教育を推進している。多様な性の在り方を含む、人それぞれの違いや多様性については、人権尊重の観点から教育活動を行っている。中学校保健体育科、家庭科、社会科公民の教科書には、LGBTについて考えるコラムが掲載されている。 ・市立中学校の標準服について、七生中学校は、標準服に学生服とセーラー服を採用しているため、学生服にはズボン、セーラー服にはスカートとなっているが、相談により、個別に対応を行っている。その他の7校は、ズボンまたはスカートを選択することができるようになってきている。
佐藤 琢磨 議員	一般質問	【不登校と居場所】 ・不登校の原因分析と対策 ・特別支援教育の充足状況 ・教員不足の現状と対策 ・支援員増員のための予算増 ・校内での居場所 ・コミュニティスクールの導入	教育部参事 (教育指導)	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童・生徒数については、増加する見込みとなっており、課題であると認識している。不登校となる要因は多様であり、一人一人異なることから、一人一人に寄り添った対応を心がけるよう指導・助言を行っている。不登校対応については、不登校の未然防止の取組が重要であり、児童・生徒にとって学校が安心して通える場所となることが大切であると考えている。不登校児童・生徒への支援としては、スクールソーシャルワーカーやわかば教室などの関係機関と連携し、個に応じた支援を進めている。全中学校に「家庭と子供の支援員」を配置し、自宅へのお迎え、登校後の個別指導、生徒・保護者への相談・助言などを行っている。エールでは、居場所支援事業「ひよっこり」を実施している。 ・ステップ教室への入室、自閉症・情緒障害特別支援学級への転学が適切であると認められた児童・生徒については支援を受けられる体制になっている。小学校の自閉症・情緒障害特別支援学級は令和5年4月に東光寺小学校にて開設を予定している。今後もニーズに応じて新たな設置校を含めて検討していく。 ・市立学校では、年度途中から病気休職や産育休を取得している教員の代わりに指導する教員が不足している。代替教員の確保については、学校と教育委員会事務局が持っている情報を共有しながら、退職した方や近隣大学に個別に声をかけたり、東京都教育委員会と調整して教員の兼務発令を行ったりするなど、欠員を補うため、様々な方策を行っている。 ・特別支援教育の推進のため様々な人たちが機関が支援しているなかで、学級支援員の数を増やすことのみが最適解でない場合があるため、支援員の適正な配置を含め、保護者を含めた大人たちが、チーム学校として連携しながら、子どもたちの安心安全と個別最適な学びが実現できるよう取り組んでいく。 ・校内登校支援教室等の設置のニーズがあった場合、学力向上支援者の活用など、必要に応じた支援を検討していく。 ・コミュニティ・スクールは、保護者や地域住民などが学校運営に参画する仕組みであり、平山小学校、東光寺小学校に加え、今年1月に滝合小学校がスタートした。さらに旭が丘小学校が導入の準備を進めている。コミュニティ・スクールは、社会に関われた教育課程を実現するために有効であるため、学校や地域の状況を考慮しながら、全校での導入に向けて取り組んでいく。
中嶋 良樹 議員	一般質問	【脱炭素社会を目指して】 ・気候変動教育（ESD）の充実	教育部参事 (教育指導)	<ul style="list-style-type: none"> ・市立学校では、学習指導要領に基づき、様々な教科等の学習の中で、気候変動等の様々な現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組むことを推進している。 ・第3次日野市学校教育基本構想プロジェクトにおいて、中学校区ごとに地域の資源を活用した学習を系統的に進めることができるよう、総合的な学習の時間の全体計画の見直しを行い、持続可能な社会の創り手となるよう、児童生徒の資質・能力を育むことを目指している。また、探究的な学習を目指し、教育活動を行っている。

令和 5 年 第 1 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
伊東 秀章 議員	一般質問	「命の授業」など小・中学校へ助産師が行くときの交通費等について	教育部参事 (教育指導)	・助産師を活用した、命の授業は、学校が企画をして実施している授業である。学校では、助産師だけではなく、授業における様々な場面で、地域等の方に講師をお願いしている。講師と協議し、有償ボランティアとして講師を希望する場合は交通費を含めた謝礼を支払っている。
馬場 賢二 議員	一般質問	【一小改築を踏まえた日野本町周辺地区の公共施設再編に向けて】 ・令和4年第3回定例会での一般質問以降の進捗について ・令和5年度以降の具体的な取り組みについて	教育部長	・日野第一小学校の改築工事事業着手に向けた準備として学校関係者や周辺地域の方々との意見交換を始め、あわせて新しい時代の学びに求められる学校施設の在り方について検討するため、基礎調査を実施した。 ・令和4年度では①「教員アンケート」②アンケート結果をもとにした小中学校25校全校においての実地踏査及び学校長へのヒアリング③学校施設のバリアフリー調査を実施した。 ・その他、通学区域や通学路、将来人口推計により今後必要とされる学級数など、学校施設の整備方針に必要な観点を調査した。 ・令和5年度では市民参画による検討委員会を設置する予定で、基礎調査から得られた課題や問題点などを分析した上で「(仮称)新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画」を策定する。 ・検討委員会は、市民や学校施設を利用する関係団体の代表者を主な構成員とするが、この会議体にとらわれず、幅広く市民の皆様の声を取り入れる手法もあわせて検討する。 ・日野第一小学校の改築工事にあたっては、「防災」や「コミュニティ」など、市民から公共施設として期待される機能や、他施設との「複合化」などの整備方法も検討の観点と位置づけ、市長部局と連携を図って検討を進めていく。
馬場 賢司 議員	一般質問	【幼児教育の今後の在り方について】 ・インクルーシブな子育て、今後の幼児教育・保育の質の向上 ・保護者等から声の多い、エール等相談機能の拡充	教育部長 教育長	・保護者等の皆様と真摯に向き合う事で、信頼関係を築きながら進めていく。 ・在り方検討委員会、2月17日に第1回を開催。それぞれ異なる立場の委員から、課題と感じていることや市全体として目指す姿などを共有した。具体的な方策は第2回目以降の議論となる。事務局として各部署と連携して対応していく。 ・R5.4月から(仮称)幼児教育・保育連携推進チームを立ち上げ、対応していく。
岡田 じゅん子 議員	一般質問	【不登校の子ども・保護者への公的支援拡充を】 ・12月議会の請願採択を受けての市としての受け止め ・市内民間フリースクールの連携	教育部参事 (教育指導)	・不登校児童・生徒が増加していることは課題として捉えており、居場所としての支援を行っているフリースクール等との連携については、今後も深めていく必要があると考えている。 ・事務局職員がフリースクールを視察したり、フリースクールの職員を生活指導主任研修会に招き講話をしてもらったりするなどの取組を行っている。児童・生徒がフリースクール等に通うことになった場合、当該施設への出席状況や、当該施設における学習状況を把握するために、学校が当該施設と十分に連絡を取るよう、指導している。
岡田 じゅん子 議員	一般質問	・エールで受けられる検査や相談について、誰もが一定程度、同じ情報が受け取れるようにしてほしい。	子ども部長	・今後も保護者の方に、より一層丁寧な説明を心がける。
岡田 じゅん子 議員	一般質問	【スクールソーシャルワーカーについて】 ・月に一度のスクールソーシャルワーカー訪問の際に、お子さんの様子や、今後のことなどできる限り報告を聞きたい、打ち合わせをしたいとのご要望がある。 ・スクールソーシャルワーカーの増員を検討してほしい。	子ども部長	・個々の状況に応じて適切に対応している。引き続き保護者に対しても丁寧な対応に努めていく。

令和 5 年 第 1 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
谷和彦 議員	一般質問	<p>【地球温暖化防止対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校庭の芝生化、屋上緑化、壁面緑化の取り組みについて 	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭の芝生化については、滝合小学校（平成22年度、3,942㎡）、東光寺小学校（平成20年度、2,142㎡）、三沢中学校（平成26年度、1,374㎡）の3校において実施。 ・校舎の屋上緑化については、豊田小学校（令和2～3年度、東校舎48㎡）、平山小学校（平成18～19年度、南校舎屋上564㎡）、日野第一中学校（平成20～21年度、校舎屋上178㎡）において実施。 ・緑のカーテンについては、令和4年度は小中学校9校において、アサガオ、ツルレイシ、ゴーヤ等のつる性植物を校舎南側へ設置することで日陰を作り、夏の日差しによる室温上昇の低減、教室の冷房効率向上の取り組みとして、毎年4～10月の間、各校で実施。 ・太陽光発電設備については、豊田小学校、平山小学校、東光寺小学校、日野第一中学校（10kw）、第二中学校（28.8kw）において実施しており、電気使用量や発電量などについて、リアルタイムの情報を表示するモニターを昇降口等に設置し環境学習への活用が可能となっている。
谷和彦 議員	一般質問	<p>【教育行政について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次日野市学校教育基本構想の成果 ・教員の働き方改革と部活動、生活指導 ・スクールカウンセラーの現状 ・特異な才能のある児童・生徒の現状と居場所 ・発達障害専門の法律相談とスクールロイヤー 	教育部参事（教育指導）	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次日野市学校教育基本構想に示された理念を教育活動に反映させることができるよう、市立小・中学校の教育課程を見直し、授業改善や教職員研修の改善などを行ってきた。令和4年度は、6校が研究奨励校として、研究発表を行った。他校でも校内研究において授業改善が図られている。令和4年度の教員研修では、第3次日野市学校教育基本構想プロジェクトにおいて中学校区ごとの9年間を連続した学びととらえ、地域資源を活用した学びを取り入れることができるよう、教育課程の編成や探究的な学びについて検討を行った。 ・中学校の部活動は、「日野市における部活動に関する方針」に従い休養日を確保している。部活動指導員を導入し、教員の負担軽減を図っている。生活指導上のトラブルがあった場合は教員に伝え、継続的に指導をする等、工夫をしながら指導にあたっている。 ・スクールカウンセラーは心の専門家として管理職や特別支援教育コーディネーター、担任と密に連携を取り、具体的な支援策を提案し、組織的な支援を実施することにより、児童・生徒の心理的な安定や適切な支援を受けることが実現できるようにしている。令和5年度はエールが派遣している学校派遣心理士が発達検査を行う時間数を、相談時間とは別枠で確保し、発達検査の実施数の増加と相談時間の確保の充実を図っていく。 ・学校では、特異な才能のある児童・生徒を含むすべての児童・生徒が多様性を認め合い、高め合える個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が求められており、その子にどのような困難さがあるのかを理解し、その困難さを改善、克服するために必要な一人ひとりに合ったアプローチをしていくことが重要であると認識している。特異な才能のある児童・生徒への支援は、学校でなく、学校外での学びの場の活用がより効果的な場合もある。学校外の児童・生徒の居場所が増えてきていることも認識をしている。教員の理解を深めるために、研修会等を実施するよう今後検討していく。 ・日野市に発達障害の当事者である弁護士が「発達障害専門の法律相談室」を立ち上げていることはも承知している。スクールロイヤーの配置は、他地区の導入事例を参考に研究していく。

令和 5 年 第 1 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
峯岸 弘行 議員	一般質問	【防災対策について再び問う】 ・フェーズフリー防災教育の導入について	教育部参事 (教育指導)	<ul style="list-style-type: none"> ・市立小・中学校の防災教育は安全教育の年間指導計画に基づき計画的に指導を実施している。年間計画を作成する際には、学習指導要領に基づき各教科等で実施する防災教育を含めた安全に関する指導事項を確認している。各教科等で学んだことを生かし、実際に避難訓練などをしながら、災害に対してどのように身を守ったらよいか、学習している。 ・東京都教育委員会は令和4年6月に防災教育デジタル教材「防災ノート～災害と安全～」を都内の全ての学校に周知し、学校現場での活用促進を図っている。市立小・中学校においても児童生徒の学習者用端末のブックマークにリンクを貼り、本教材を活用した防災教育を推進している。 ・フェーズフリー防災教育の考え方は、現在、市立小・中学校で行っている防災教育とも共通の考え方であると認識している。教科等横断的な視点で学習を進めること通して、各教科等で学んだ知識や技能などの資質・能力が、実生活や災害時において活用可能なものとなっていく。子供たちが、自分の命は自分で守ることができ、助けられる人から助ける人へと成長することができるよう、学校を支援していく。
新井 ともはる 議員	一般質問	【運動部活動を支える運営体制が存続の危機「日野発、全国初の新しい環境づくりを！」】 ・日野市における運動部活動の現状について ・運動部活動と「ひのスポ！」の連携について	教育部参事 (教育指導)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度から地域運動部活動実証事業をスポーツ庁から受託し、地域における子供たちのスポーツ環境の新たな可能性を検証してきた。日野市の事例は、全国的に見ても珍しく、スポーツ庁にも「特徴的な取組」として紹介されており、地域スポーツのあり方の一つのモデルとして全国の自治体の手本となる可能性を秘めている。子供たちのニーズに応えられるようなスポーツ機会を提供していきたいと考えている。 ・令和4年度は地域運動部活動実証事業の他に、東京都から受託した・長寿・居場所区市町村包括補助事業を活用し、学校体育施設等を拠点としたスポーツを楽しむ子ども・子育て支援事業、略称「ひのスポ！」の取組を進めている。「ひのスポ！」は、子供たちのスポーツ環境を学校部活動だけでなく、地域でも支えていく取組であり、地元企業・大学、日野市体育協会等を構成員とする日野市地域スポーツ連携協議会を令和4年10月に立ち上げ、令和5年1月21日に南平体育館にてキックオフイベントを行った。 ・「ひのスポ！」は、部活動が抱える課題を解決することを目的の一つとしている。部活動だけでなく地域でも子供たちがスポーツを楽しめる機会を創出することで、子供たちのスポーツ環境を支え、子供たちの健全育成に努めたい。令和5年度から「ひのスポ！」は子供たちが継続的にスポーツに取り組める形式を中心に実施する予定であるが、大会の参加を目指すかどうかは、子供たちの声を丁寧に聞き取りながら決めていくことが望ましいと考えている。

令和 5 年 第 1 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
島谷 広則 議員	一般質問	<p>【日野市の部活動改革について、教育委員会に問う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「内申書」と「部活動」の関連について、どのように生徒・保護者に周知してきたか。今後の部活動の地域移行化を踏まえた課題認識について。 ・困窮世帯の中学生も参加できるような公的補助の導入について ・部活動の指導に携わる、教員の報酬（部活動手当）について、部活動支援員との比較も含めて 	教育部参事（教育指導）	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校入学選抜における調査書の有無や記載内容について、都立高等学校は統一しているが、私立の高等学校については、学校により異なっている。生徒と保護者は、各高等学校が主催する学校説明会に参加し、受検の情報を把握している。市立中学校は、都立高等学校募集案内の配布や進路指導、三者面談を通して、生徒が志望する高等学校の受検についての情報を生徒・保護者に周知している。都立高等学校の調査書については、学校外のクラブチーム等の活動内容も調査書記載の対象となる。一部の私立高校においては、部活動の所属期間や大会実績を評価する学校があり、学校外のクラブチームに所属している生徒の中には、高校からの評価を期待して、休日のクラブチームの活動に支障のない、活動日数の少ない部活動に所属する生徒がいるとの話を聞くことがある。部活動が本来、スポーツや文化、科学等に親しむことによって、学校教育が目指す資質・能力の育成に資する教育活動であることを前提にすれば、現在の部活動の在り方には様々な課題があると考えられる。地域スポーツの意義や在り方についても、新たに設置した日野市地域スポーツ連携協議会において議論をしていきたいと考えている。 ・スポーツ庁及び文化庁は、令和4年12月に「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」の中で、保護者等の負担軽減について、「都道府県及び市区町村は、経済的に困窮する家庭の生徒の地域クラブ活動への参加費用の支援等の取組を進める。地域クラブ活動の運営団体・実施主体が、地元の企業等の協力を得て、企業等が有する施設の利用や設備・用具・楽器の寄附等の支援を受けられる体制の整備や、家庭の参加費用の負担軽減に資する取組等を推進する。」との考え方が示されている。ガイドラインと現在すすめている実証研究を踏まえ、費用負担の在り方について、今後関係機関と議論を進めていく。 ・教員の週休日及び休日に実施した部活動指導業務の手当は、3時間以上実施した場合、日額3,000円が支給されている。会計年度任用職員である部活動指導員の指導業務手当は、勤務年数によって金額が異なり、1時間あたり、2,033円～2,242円を支給している。外部指導者の謝礼金は、2時間以上実施した場合、日額2,000円を支給している。
窪田 知子 議員	一般質問	がん教育の現状と推進	教育部参事（教育指導）	<ul style="list-style-type: none"> ・がんに関する教育は学習指導要領に基づき、小学校体育の保健分野、中学校保健体育の保健分野において取り扱っている。令和4年度、がん教育は日野市立小・中学校全校で実施し、10校が外部講師を活用した。外部講師は、がん専門医、看護師、がん経験者、薬剤師等であり、多様な話を聞くことができた。 ・教育委員会では、学習指導要領に基づき、各学校が創意工夫してがん教育を実施することができるよう、講師派遣についての支援を行っていく。
池田 としえ 委員	民生文教委員会	<p>【第四幼稚園】</p> <p>特別な配慮を必要とする子どもたちへの具体策が示されていない。保護者の不安が払拭されることが必要。</p>	学校課長	<ul style="list-style-type: none"> ・第四幼稚園保護者の皆様との対話は、まさにひざ詰めで、想いやアイデア等をお伺いして、子どもたちの健やかな成長のために何をすべきか、何ができるかを保護者の皆様と教育委員会と一緒に考えさせていただく場、と考えている。 ・在り方検討委員会は、日野市全体の幼児教育・保育について、質の向上という視点から議論する場だが、第四幼稚園の閉園によって、仮にも行き場のない子どもが生まれることの無いよう、合わせて議論していく。 ・目指すところは、子どもたちの学びと育ちをどう支えていくか、そのためには何をどうするのか、子どもを真ん中にした議論を進めていく。

令和 5 年 第 1 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
有賀 精一 委員	民生文教委員会	【第四幼稚園】 地域から私立も含めて幼稚園がなくなることが適正配置なのか。子どもたちに幼児教育を受ける権利を保障すべき。	学校課長	<ul style="list-style-type: none"> ・日野市立学校適正規模・適正配置等検討委員会は、「日野市立学校適正規模・適正配置等検討委員会条例」に基づき、教育委員会の附属機関として、教育委員会からの諮問に応じ、市立幼稚園の適正配置などに関することについて検討し答申するもの。 ・日野市幼児教育・保育の在り方検討委員会は、公立・私立、幼稚園・保育園を通じて、特別な配慮を必要とする子どもや幼保小の接続といった観点を含め、日野市の「すべての子どもたち」の幼児教育の質の向上に向けて議論を行う。
岡田 じゅん子 委員	民生文教委員会	【第四幼稚園】 在り方検討委員会の具体策の議論はこれから。集まっている署名数からも市民の熱量がうかがえ、今後の経過を見守るべき。	学校課長	<ul style="list-style-type: none"> ・4月より（仮称）幼児教育・保育連携推進プロジェクトチームを立ち上げ、幼児教育・保育アドバイザーを配置し、各学校・各園を巡回訪問して助言を行ったり、良い事例の収集、課題の把握などを行う。それを公私幼保小全体を対象とした合同研修や研究などを通じて共有するなど、市全体の幼児教育・保育の質の向上に取り組んでいく予定。 ・また、幼児教育・保育の在り方検討委員会の実働部隊として、委員会の検討による具体策を受け、施策・事業として検討し、展開していく。 ・在り方検討委員会の議論も踏まえ、今後予定している教育委員会における素案の修正案の策定ののち、改めて説明会とパブコメを実施していく。
田原 茂 委員	民生文教委員会	【第四幼稚園】 行き場のない子どもを作ってはならず、保護者の声には真摯に向き合うべき。話し合いの状況は広報すべき。 市教委の考えを伝えることも誠実な対応。決定権は教育委にあることを自覚すべき。	学校課長	<ul style="list-style-type: none"> ・第四幼稚園の保護者の皆様とは、継続的に対話の場を持たせていただいております。対話を重ねる中で、率直な意見交換ができる土壌が少しずつできてきているとも感じている。信頼関係を築きながら、また一緒に考え、悩んでいただくこともしながら、対話を重ねてまいります。 ・保護者等の皆様からは、公立幼稚園の園児を増やす取り組みや、四幼地域の子どもの行き場として施設の複合化などのご意見、ご提案をいただいております。四幼地域に幼児教育を受けられる場が必要であるとの切実なお声も伺っています。 ・一方で、新しい施設の建築については、公共施設等総合管理計画の縮充の方針を踏まえた検討が必要であり、保護者等の皆様にも一緒に考えていただき、教育委員会として何ができるか、しっかり対応を検討してまいります。
島谷 広則 委員	民生文教委員会	【第四幼稚園】 請願者をはじめ保護者らの不安払拭は必須条件。 公立幼稚園の閉園は行革ありきであってはならない。公立幼稚園の役割を理解したうえで、修正素案の策定を進めるべき。 計画乙策定には市民参画のプロセス充実を。	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・第四幼稚園の保護者の皆様とは、継続的に対話の場を持たせていただいております。今後も保護者等の皆様と真摯に向き合い、信頼関係を築き、対話を進めていく。 ・日野市立学校適正規模・適正配置等検討委員会からの答申では、公立幼稚園の役割として、就学前の幼児教育センター的役割、幼保小連携の窓口、多様性を認め合う環境創出を評価する一方、公立と私立それぞれに求められるニーズがあり、幼児人口が減少していく中で、就学前施設として公私両者が対峙することなく未就学児全体を支えていくことの必要性について言及している。 ・在り方検討委員会では、公私幼保それぞれの立場から現状の課題や取り組んでいきたいことなどを率直に出し合い、公私幼保小が隔てなく一丸となって取り組んでいくことが目指すべき姿と考える。 ・教育委員会として素案を決定するにあたっては、今後再度パブリックコメントに付す、住民説明会を開催させていただく中で、市民参画のプロセスを踏まえていきたい。

令和 5 年 第 1 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
鈴木 洋子 委員	民生文教委員会	【第四幼稚園】 保護者とともに考え、ともに悩んでいける関係性を築いていくことを切に希望する。 また、対話の中で出てきた保護者のアイデアについて、議論していくことが必要。	学校課長	<ul style="list-style-type: none"> 保護者等の皆様からは、公立幼稚園の園児を増やす取り組みや、四幼地域の子どもたちの行き場として施設の複合化などのご意見、ご提案をいただいている。 公立幼稚園の良さを知っていただくため広報、発信の工夫として、各幼稚園のホームページのリニューアル、リーフレットの作成を行った。公立幼稚園の募集や周知について、保護者等の皆様のご意見も踏まえて、教育委員会として何ができるか、しっかり対応を検討していきたいと考えている。 一方で、新しい施設の建築については、公共施設等総合管理計画の縮充の方針を踏まえた検討が必要ですが、保護者等の皆様にも一緒に考えていただき、教育委員会として何ができるか、しっかり対応を検討していきたいと考えている。
ちかざわ 美樹 委員	一般会計予算特別委員会	【学校図書館司書について】 ・令和5年度の雇用条件 ・学校図書館の研究校の取組状況	学校課長 統括指導主事	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館司書の雇用条件と配置校は、令和4年度と変更なし。 研究奨励校3校は、市立図書館との連携、杉並区立学校の視察、市主催の研修への参加等行っている。 令和4年度は学校図書館を活用した研究授業を各校1回ずつ実施した。 研究奨励校の令和4・5年度の研究等を通して、学校司書の役割を明確にし、研究の成果を各学校に展開した後、全校配置を目指していく。
ちかざわ 美樹 委員	一般会計予算特別委員会	小学校屋内運動場冷暖房設備設置について、東京都の補助金が有利なうちに、早期に、全校を整備すべきと考えるが如何か？	庶務課長	<ul style="list-style-type: none"> 小学校体育館のエアコン整備以外にも、トイレ改修や豊田小学校校舎大規模改修事業など大規模な事業を計画している 国が令和3年度から令和7年度までに実施している「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の期間において、市の財政負担の平準化を図りながら計画的に整備を行う 隣り合う小学校を同年度に実施しないことで、工事中の利用制限に対し、代替え利用など協力体制を形成する。 災害発生時、避難所として利用制限が生じる学校を抑えることから、令和7年度までに整備完了する計画としている
島谷 広則 委員	一般会計予算特別委員会	【学校施設劣化状況調査業務委託料について】 調査の担当者は？ 学校運営をサポートする面で、とても大切な調査であり、結果の評価とそれに基づく、今後の計画への反映など、重要な役割となるため、適切な職員による対応とするように。	庶務課長	<ul style="list-style-type: none"> 庶務課に所属している技術職員により調査結果を検証、評価する。 今後、策定する計画や個別施設計画の見直しなどに影響する重要な調査となるため、適切に対応していく
島谷 広則 委員	一般会計予算特別委員会	情報モラルソフトウェアとは今年度予算に新しく計上されたが、既存か新規か、どのように使うのか	教育部参事（ICT活用教育推進室長）	既存の庶務課リースに含まれていたものを今回予算を組み替えた際、リースからソフトウェア使用に組み替え個別としたものであり、既存事業である。具体的には学校ホームページに「Netモラル」として家庭で情報モラル教育に取り組めるコンテンツとして利用している。また、情報モラル教育として授業の中でも活用されている。
島谷 広則 委員	一般会計予算特別委員会	令和5年度に実施予定の小学校、中学校の周年行事の予定、予算の使い道について	庶務課長	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度では小学校5校、中学校1校、幼稚園1園で実施予定。日野第一小学校、日野第四小学校、潤徳小学校、平山小学校が150周年。日野第七小学校、日野第四中学校、第四幼稚園が50周年。 1校あたりの予算については、消耗品費の内、消耗品で180,000円、横断幕購入で43,500円、印刷製本費については、周年記念誌の作成費用として149,000円。 消耗品の具体的な内容については各学校で必要と考えるものを判断して購入。

令和 5 年 第 1 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
奥住 匡人 委員	一般会計予算特別委員会	【幼保小連携】 幼保と小の接続の準備はしっかりと。アドバイザーによる各園の関りから、取り組むべき事項の精査を。 この一連の取組は継続的に、発展的に。	市長 教育長 学校課長	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的な課題として挙げられている幼児教育・保育から小学校教育への円滑な接続と、特別な支援を要する子どもの学びをどう充実させていくかという課題があり、すべての子どもたちの健やかな成長を実現することを目的として、令和5年度から新しい組織として、教育委員会と子ども部が連携したプロジェクトチーム、「幼児教育・保育連携推進チーム」を立ち上げ予定。 ・アドバイザーによる巡回訪問、公民幼保小全体を対象とした合同研修会や合同研究会の開催、幼稚園・保育園におけるアプローチカリキュラム、小学校におけるスタートカリキュラムのそれぞれの作成のための研修といった事を想定している。 ・また、プロジェクトチームは、「幼児教育・保育の在り方検討委員会」の議論を踏まえて、施策を検討し、実施する役割を担い、日野市の子どもの健やかな成長のため、必要な事業を展開していく。
佐藤 琢磨 委員	一般会計予算特別委員会	学校のバリアフリー化の現状と、今後の計画は？	庶務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の全体のバリアフリー化が完了している学校は、改築事業を行った平山小学校 ・校舎の増改築等に併いエレベータを設置している学校は、小学校7校・中学校4校である ・その他、全校において、校舎1階に車いす使用者用のトイレを整備している ・今後計画については、「学校施設の長寿命化及び改築等の整備に関する中長期計画」に基づく大規模な改築や増改築等に併せ、整備を行うことを基本としている ・文部科学省において、令和2年12月に「公立小中学校等施設のバリアフリー化に関する整備目標」が策定され、既存施設も含めた整備の推進が求められている ・令和4年度は、平山小学校を除いた小中学校24校のバリアフリー調査を実施した ・調査結果を基に、現状の課題を整理し、今後の整備方針について検討を行う
岡田 じゅん子 委員	一般会計予算特別委員会	安全管理員の再配置について	庶務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・学校では危機管理マニュアルの作成とともに管理職、教職員、用務員等による校内巡視、登校時の見守り、校舎内外の安全点検などを実施している。また、教員による訓練の実施など、学校全体で安全管理を行っている。 ・学校と幼稚園には緊急かつ重大な事態に備えて緊急通報装置（学校110番）が入っており、緊急通報が警視庁に入る仕組みで、令和5年度予算で4G対応の機械に更新予定。 ・校内への防犯カメラが設置されており、平成30年度に小学校の機器、令和3年度に中学校の機器がデジタル化されている。 ・登下校時の防犯対策として全小学校の通学路に防犯カメラを設置している。 ・子どもを見守る目を増やすことは重要と考えており、スクールサポートスタッフ、副校長補佐の配置も行ってきたが、今後、スクールガードボランティア等を充実することにより、地域の力の活用を考えている。 ・滝合小学校のコミュニティスクールでは安全安心に関してスクールガードボランティアを募って校舎内外の見守り体制の構築を検討しており、旭が丘小学校のコミュニティスクールも含めて、このような地域の力の活用を広げていければと考えている。
壺岸 弘行 委員	一般会計予算特別委員会	ランドセルカバーのデザインについて、防犯ブザー携帯中等の表記による防犯啓発を。	学校課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ランドセルカバーは寄付によりいただいている。そのデザイン作成の中で文言が削除された。令和5年度分まで寄付をいただいている状況。 ・令和6年度のデザインについて、学校等の意見も伺いながら、より良い内容になるよう進めていく。

令和 5 年 第 1 回 市議会定例会における指摘事項等（学校教育関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
牽岸 弘行 委員	一般会計予算特別委員会	三沢中学校防音壁の現状と今後の計画について	庶務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・防音壁は、経年劣化が進行しており、令和3年度には目視点検により確認された基礎の破損等の応急対応の修繕を実施した ・令和4年度は、防音壁の更新に向けて、京王電鉄と協議を進めた ・現状と同位置・同等の防音壁に更新を行うためには、およそ2億円の事業費が必要となった ・現在の防音壁の状態について専門家の調査を行う ・今後の対応については、現状の位置での更新を行うこと以外の選択肢も含めて、騒音対策の範囲や規模などを検証し、整備方針の検討を進めていく
牽岸 弘行 委員	一般会計予算特別委員会	学校トイレ改修の進捗は？	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月1日時点では、校舎の洋便器率は80.3%（体育館等を含む全体では77.0%）となる ・令和6年4月1日時点の見込みでは、校舎の洋便器率は83.2%（体育館等を含む全体では79.9%）となる予定
池田 としえ 委員	一般会計予算特別委員会	校務PC1200台について <ul style="list-style-type: none"> ・使用目的について ・クロームブックを予備機に回すとは？ ・子供にどのように役立つのか 	教育部参事（ICT活用教育推進室長）	<ul style="list-style-type: none"> ・既存校務PC1200台の更新である。既に学校で成績処理等の校務システム用として使用されているものである。 ・1200台を今回授業でも使用することを想定しているため、教員用のクロームブックを予備機に回し、端末不足を解消するものである。 ・校務を効率化するため校務支援システムを導入しており、空いた時間を児童生徒への対応に使うことができる。
池田 としえ 委員	一般会計予算特別委員会	【個に応じた指導の充実】 <ul style="list-style-type: none"> ・TGG立川の利用について ・コロナ禍で不登校になった児童・生徒、保護者の相談先について 	統括指導主事 教育部参事（教育指導）	<ul style="list-style-type: none"> ・TGG立川は、令和5年1月にオープンした体験的に英語を学ぶ施設である。令和4年度に2校が先行して体験活動を実施し、令和5年度には中学校全8校が体験できるように拡充した。 ・不登校児童・生徒、保護者の相談はまずは学校である。学校で相談しにくい場合には、教育センターわかば教室、エールでも相談できる。スリースクールについては、学校以外の学習の場として必要であると認識している。フリースクールとの連携は今後も深めていきたい。

令和 5 年 第 1 回 市議会定例会における指摘事項等（生涯学習関係）

別表1

発言者	問題提起の場所	問題の要旨・指摘事項	答弁者	答弁の内容
佐藤琢磨 議員	一般質問	子どもたちに、広く居場所を周知するためのマップを作成するべき	教育部参事 (生涯学習担当)	子どもが日常的に使用している施設に加え、子ども食堂・無料塾・プレイパークも含め掲載し配布していく。
馬場賢司 議員	一般質問	【一小改築を踏まえた日野本町周辺地区の公共施設再編に向けて】 ・令和4年第3回定例会での一般質問以降の進捗と令和5年度以降の具体的な取り組みについて	教育部参事 (生涯学習担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年11月より「日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり庁内検討チーム」を設置し、学校施設と社会教育施設の今後のあり方について検討を進めている。 ・先進市の複合施設を視察し、課題を整理している。 ・地域住民・利用者・職員の声を聞いて、複合化・多機能化する場合のメリット・デメリットを検討しながら丁寧に進めていく。 ・令和5年度に、社会教育施設の中でも特に老朽化が進む中央図書館・高幡図書館・日野図書館・中央公民館の4館を対象に、日野市公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」を策定する。
馬場賢司 議員	一般質問	日野第一小学校と周辺公共施設との複合化（令和4年第3回定例会一般質問以降）の進捗について	教育部参事 (生涯学習担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館及び図書館では、関係各課とともに日野市新たな学校づくり・社会教育施設づくり庁内検討チームを設置し、できることから取り組みを開始している。 ・複合施設のある先進市への視察を実施し、職員間で情報を共有しながら課題等を整理している。
馬場賢司 議員	一般質問	社会教育施設複合化における令和5年第以降の具体的な取り組みについて	教育部参事 (生涯学習担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設の中で特に老朽化が進む中央図書館・高幡図書館・日野図書館と中央公民館の4館を対象に、日野市公共施設等総合管理計画に基づく「個別施設計画」を策定する予定。
谷和彦 議員	一般質問	【文化財保存事業について】 ・築50年になる中央図書館を、国の登録有形文化財に申請を	教育部参事 (生涯学習担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館は、全国的に図書館行政をリードしてきた象徴的存在の建造物。 ・国の登録有形文化財としての要件を満たしていると判断できる。 ・市民の地域アイデンティティ醸成にも大きな効果が期待できる。 ・第4次図書館基本計画の策定に向けた議論を踏まえ、関連法令などの諸条件を鑑みながら、是非を検討していく。
峯岸弘行 議員	一般質問	【学校図書館の貸出し返却システムの改善について】 ・システムの全面的な見直し（情報量のアップ）でいつでもスムーズに貸し借りができるよう早急に改善を	教育部参事 (生涯学習担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館システムは、データ通信端末による無線接続で行っているが、通信の不安定さが課題である。 ・令和5年2月1日に、特に事象が深刻な学校について、ネットワーク回線の切替工事を実施。通信環境に問題が無いことを確認した。 ・令和5年度中に、すべての学校のネットワーク回線の切替工事を行い、通信環境の整備に取り組む。
新井ともはる 議員	一般質問	【急げ サイバー攻撃対策】 ・コンピュータウィルスに感染した図書館システムの、次期システムの更新に向けてサイバー攻撃対策の強化を	教育部参事 (生涯学習担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・次期システムの更新は、令和7年1月1日を予定。更新に向けて、ネットワークの構成も含めて見直す方向で検討している。 ・更新までは現在のシステムで再発防止策を徹底し、しっかり運用していく。

要点を記載しています。詳細は市議会HPをご確認ください。

■令和4年度 日野市一般会計補正予算（第13号）

別表2

教育費（歳出）

単位：千円

	補正前の額	補正額	合計	主な内容
教育総務費	2,323,187	▲125,354	2,197,833	
事務局費	698,593	▲40,890	657,703	ICT活用教育推進運用経費 委託料 新校務支援システム構築業務委託料 ▲17,680 他
教育指導費	264,530	▲39,982	224,548	コミュニティ・スクール運営経費 報酬 学校運営協議会委員報酬 ▲800 他
教育センター費	68,021	▲3,079	64,942	教育センター施設管理経費 委託料 トイレ清掃業務委託料 ▲77 他
教育支援費	217,649	▲16,860	200,789	特別支援学級運営経費 報償費 学級指導講師謝礼 ▲270 他
放課後子ども育成費	1,066,918	▲24,543	1,042,375	※職員課、子育て課
小学校費	1,964,893	407,660	2,372,553	
学校管理費	706,531	▲6,585	699,946	学校施設管理経費 委託料 特殊建築物定期点検業務委託料 ▲2,608 他
教育振興費	328,511	▲1,710	326,801	教育振興経費 委託料 PC教室解体業務委託料 ▲516 他
学校保健給食費	802,607	29,806	832,413	学校給食運営経費 負担金、補助及び交付金 学校給食（食材）費補助金 40,949 他
学校建設費	127,244	386,149	513,393	施設整備管理経費（屋内運動場環境整備経費） 工事請負費 七生緑小学校屋内運動場冷暖房設備設置建築工事 36,468 他
中学校費	959,414	118,363	1,077,777	
学校管理費	359,586	▲6,380	353,206	学校施設管理経費 委託料 特殊建築物定期点検業務委託料 ▲1,490 他
教育振興費	213,780	▲3,521	210,259	移動教室・修学旅行経費 負担金、補助及び交付金 修学旅行補助金 ▲1,361 他
学校保健給食費	338,471	22,330	360,801	学校給食運営経費 負担金、補助及び交付金 学校給食（食材）費補助金 22,725 他
学校建設費	47,577	▲105,934	153,511	施設整備管理経費（学校改良経費） 工事請負費 大板上中学校トイレ改修建築工事 50,661 他
幼稚園費	929,958	▲75,014	854,944	
幼稚園費	187,569	▲3,570	183,999	市立幼稚園施設管理経費 委託料 建築設備定期点検業務委託料 ▲290 他
幼稚園保健費	4,114	0	4,114	（財源補正）
幼児教育援助費	738,275	▲71,444	666,831	※保育課
社会教育費	1,213,063	▲29,372	1,183,691	
社会教育総務費	126,381	▲5,229	121,152	地域学校協働活動推進事業経費 報償費 コーディネーター謝礼 ▲2,150 他
林間施設費	6,565	▲2,270	4,295	旧大成荘事業経費 委託料 設備等維持管理業務委託料 ▲992 他
文化財保護費	17,574	▲137	17,437	文化財保護審議会経費 報酬 文化財保護審議会委員報酬 ▲42 他
郷土資料館費	73,148	▲1,162	71,986	講座・学習会事業経費 報償費 体験学習会講師謝礼 ▲104 他
公民館費	95,711	▲1,936	93,775	公民館まつり・アートフェスティバル事業経費 委託料 アートフェスティバル会場設営業務委託料 ▲923 他
図書館費	760,725	▲22,650	738,075	歴史的公文書デジタル化事業経費 委託料 歴史的公文書デジタル化業務委託料 ▲13,554 他
文化振興費	132,959	4,012	136,971	※文化スポーツ課
体育費	316,791	▲13,340	303,451	
体育総務費	88,288	▲1,081	87,207	※職員課、文化スポーツ課
市民プール費	15,501	830	16,331	※文化スポーツ課
市民グラウンド費	61,189	337	61,526	※文化スポーツ課
体育館費	151,813	▲13,426	138,387	※文化スポーツ課
教育費計	7,707,306	282,943	7,990,249	

■令和5年度 日野市一般会計予算（教育費）

別表3

	予算額 (千円)	令和4年度予算額 (当初) (千円)	増減率 (%)	内訳 (千円)
1 教育総務費	2,704,665	2,269,212	19.2	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会費 7,539 ・事務局費 748,560 ・教育指導費 308,479 ・教育センター費 64,166 ・教育支援費 247,346 ・放課後子ども育成費 1,328,575
2 小学校費	1,954,348	1,743,311	12.1	<ul style="list-style-type: none"> ・学校管理費 774,416 ・教育振興費 307,590 ・学校保健給食費 723,955 ・学校建設費 148,387
3 中学校費	1,042,987	843,031	23.7	<ul style="list-style-type: none"> ・学校管理費 416,524 ・教育振興費 220,883 ・学校保健給食費 300,747 ・学校建設費 104,833
4 幼稚園費	887,027	858,368	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園費 175,447 ・幼稚園保健費 2,615 ・幼児教育援助費 708,965
5 社会教育費	1,148,620	1,146,994	0.1	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育総務費 120,216 ・文化財保護費 17,415 ・郷土資料館費 73,673 ・公民館費 95,423 ・図書館費 659,451 ・文化振興費 182,442
6 体育費	312,215	306,717	1.8	<ul style="list-style-type: none"> ・体育総務費 83,893 ・市民プール費 18,454 ・市民グラウンド費 70,293 ・体育館費 139,575
合計	8,049,862	7,167,633	12.3	前年度比 882,229千円増

報告事項第2号

令和4年度就学援助申請者数及び認定者数

このことについて、次のとおり報告する。

令和5年4月13日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

令和4年度 就学援助申請者数及び認定者数

令和4年度申請分

(単位:人)

	申請者計			要保護・準要保護認定						否認定		
	小学校	中学校	計	要保護			準要保護			小学校	中学校	計
				小学校	中学校	計	小学校	中学校	計			
4月～5月	972	542	1,514	66	40	106	820	469	1,289	86	33	119
6月	14	8	22	1	0	1	13	6	19	0	2	2
7月	4	9	13	0	0	0	5	10	15	-1	-1	-2
8月	12	8	20	0	0	0	12	8	20	0	0	0
9月	4	7	11	0	0	0	4	5	9	0	2	2
10月	3	1	4	0	1	1	3	0	3	0	0	0
11月	4	2	6	0	0	0	4	3	7	0	-1	-1
12月	4	1	5	0	0	0	4	1	5	0	0	0
1月	5	5	10	0	0	0	5	5	10	0	0	0
2月	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	2
3月	2	0	2	0	0	0	1	0	1	1	0	1
合計	1,026	583	1,609	67	41	108	871	507	1,378	88	35	123

※否認定のうちマイナスで表記されているものは、一度否認定で決定した後、家計急変などで再審査を行い認定に転じたもの。

参考(過年度データ:各年度末時点)

	申請者計			要保護・準要保護認定						否認定		
	小学校	中学校	計	要保護			準要保護			小学校	中学校	計
				小学校	中学校	計	小学校	中学校	計			
令和3年度	1082	645	1727	64	44	108	946	558	1504	72	43	115
令和2年度	1040	607	1647	64	40	104	884	514	1398	92	53	145
令和元年度	1043	636	1679	63	48	111	896	542	1438	84	46	130
平成30年度	1054	670	1724	56	46	102	917	577	1494	81	47	128
平成29年度	1085	748	1833	55	49	104	950	645	1595	80	54	134
平成28年度	1124	763	1887	60	47	107	985	665	1650	79	51	130

報告事項第3号

要綱の制定及び改廃の報告（令和5年1月～令和5年3月）

このことについて、次のとおり報告する。

令和5年4月13日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

要綱制定改廃一覧（令和5年1月～令和5年3月）

NO	要綱の名称	適用日	制定・改廃の内容
1	日野市幼児教育・保育の在り方検討委員会設置要綱	令和5年2月15日	<p>【新規制定】</p> <p>令和3年11月の日野市立学校適正規模・適正配置等検討委員会からの答申において、公立幼稚園の統廃合が望ましいとの判断とともに、「今後の幼児教育や公立幼稚園のあり方については、より議論を深めるためには、別途会議体などを構成の上、日野市らしい幼児教育や公立幼稚園のあり方の検討を推進されたい」との意見が付されたため。</p>
2	日野市立幼稚園のあり方についてのプロジェクトチーム設置要綱	令和5年3月13日	<p>【廃止】</p> <p>当該プロジェクトチームが既に活動を終えているため。</p>

報告事項第4号

日野市教育委員会後援等名義使用実績報告（令和4年10月～令和5年3月）

このことについて、次のとおり報告する。

令和5年4月13日 提出

日野市教育委員会
教育長 堀川 拓郎

令和4年度 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告(10月～3月)

No.	実施団体名	事業名	目的・内容	実施場所	実施日(開始～終了)		共催・後援	承認日
1	どうぶつ愛護活動隊Kyueen	「小さな命の写真展IN日野」&「保護わん保護にゃん写真展」	動物愛護精神の普及啓発活動を通じ、人と動物が共生する社会を実現する。	とよだ市民ギャラリー	令和4年11月22日	令和4年11月27日	後援	令和4年10月12日
2	令和4年度多摩・島しょ子ども体験塾日野市・八王子市共同事業実行委員会	たにぞうファミリーコンサート	子どもから大人まで親しめる事業として「たにぞうファミリーコンサート」を行い、参加した親子に感動体験を提供する。コンサートではプロが演出する本格的なステージに子どもたちも参加してもらうなど「本物体験」の機会を設け、子どもの心に大きな感動と夢を与え、豊かな感性を育み、また、親子で参加することで、情緒や親の結びつきを育む。	ひの煉瓦ホール	令和5年1月29日	令和5年1月29日	後援	令和4年10月12日
3	手をつなごう・こどもまつり実行委員会	手をつなごう・こどもまつり	・日頃より子どもに関わる団体が協働することで、団体相互の連携・交流を図る。 ・ステージ等、子ども達の日頃の成果発表・自己実現の場とする。	市民の森ふれあいホール・仲田の森壱糸公園	令和4年11月8日	令和4年11月6日	後援	令和4年10月12日
4	一般財団法人言語交流研究所 ヒッポファミリークラブ	家族で参加できる多言語ワークショップ	多言語の自然習得と国際交流、相互理解について共に考える	市民の森ふれあいホール・東部会館	令和4年11月6日	令和4年11月27日	後援	令和4年10月12日
5	一般社団法人プレイキッズシアター	<演劇教育ワークショップ+発表会> 想像力であそぼう「もしも、ワールド」	小学3～6年を対象に、シアターゲームや表現あそびのワークショップを通してお話作りに取り組み最終日に発表会を行う。自主性、発想力、自己肯定感を育むことを目指す。	市内の公共施設 ひの煉瓦ホール	令和5年1月22日	令和5年3月5日	後援	令和4年10月20日
6	立川シアタープロジェクト実行委員会	子どもとおとなが一緒に楽しむ舞台 vol. 6「青い鳥」	音楽や舞踊、美術、文学など様々な芸術表現を組み合わせた総合芸術である演劇を通じて、子どもをはじめ、若者、乳幼児のいる世帯やお年寄りなど幅広い世代に向けて、文化芸術を身近に感じる場や機会を創出する。	たましんRISURUホール	令和4年12月23日	令和4年12月25日	後援	令和4年10月20日
7	平山季重まつり実行委員会	第16回平山季重まつり	平山出身の源平の勇将である平山季重に関連する歴史資源と浅川や七生丘陵などの自然資源を有する平山地区の特徴を活かした観光まちづくりを推進するとともに、まつり・イベントを通して平山地区の商業振興及びコミュニティの更なる活性化を図る。	平山季重ふれあい館・マルシェ平山	令和4年10月23日	令和4年10月23日	後援	令和4年10月20日
8	ふれあい健康大学	自分の健康は、自分でつくる	・中高齢者の引きこもり、フレール化を予防し、明るく、楽しく健康な生涯現役生活作りを支援。 ・行政、地域支援センターと連携しながら地域の見守り活動を通じて、仲間の集うコミュニティ作りの一助とし、地域社会に貢献する。	イオンモール多摩平の森3FイオンホールA・B	令和5年1月15日	令和5年1月15日	後援	令和4年10月20日
9	中央大学学友会文化連盟音楽研究会吹奏楽部	中央大学学友会文化連盟音楽研究会吹奏楽部 創部80周年記念「第65回定期演奏会」	2022年における当部の音楽創りの集大成となる本演奏会を通じて、日野市や八王子市をはじめとする近隣地域の皆様に「吹奏楽」に親しんでいただくことにより、当部の活動に対する認知拡大はもとより、吹奏楽及び文化の発展に貢献することを目的とする。	J.comホール八王子	令和4年12月11日	令和4年12月11日	後援	令和4年10月26日
10	帝京大学 大学院教職研究科(教職大学院)	第14回 帝京大学 教職大学院フォーラム～子どもを見つめて～	理論と実践の融合を特色としている教職大学院が、日頃の教育実践や研究成果を、広く教育関係者へ公開するとともに、学校現場での実践や悩み等を共有することで、教職員の資質や実践力の向上に資すること	帝京大学八王子キャンパス ソラティオスクエア 1階キュリオンティホール他	令和4年11月26日	令和4年11月26日	後援	令和4年10月26日

令和4年度 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告(10月～3月)

11	東京都薬物乱用防止推進日野地区協議会	令和4年度薬物乱用防止ポスター・標語展示会(中学生による)	薬物乱用防止の啓発	ひの社会教育センター ロビー	令和4年12月8日	令和4年12月20日	後援	令和4年11月7日
12	公益社団法人 日野法人会	公益社団法人日野法人会長杯争奪日野市少年サッカー大会を兼ねた税金教室	地域社会への貢献等、社会の健全な発展に資する事業として、将来を担う小学生を対象とした租税教育を支援、実施する。	北川原公園グラウンド	令和4年11月23日	令和4年11月23日	後援	令和4年11月7日
13	キッズマネースクールリバー校	キッズマネースクール	小学生親子を対象とした金銭教育	生活保健センター	令和4年12月18日	令和4年12月18日	後援	令和4年11月7日
14	公益財団法人 社会教育協会	公益財団法人社会教育協会附属市民の社会教育研究所 2022年度総会研究会兼協会設立100周年キックオフ企画「コロナ禍における社会教育実践」	新型コロナウイルスのパンデミックは、すでに2年半以上にわたり私たちの暮らしにさまざまな影響を与えてきた。社会教育の現場も例外ではなく、学びを止めないための視察が今日まで続けられている。本研究会では、社会教育施設の職員や地域で活動されている方の経験をもとに、パンデミックの教訓を学び合うとともに、「コロナ後」の活動に求められるものをシンポジウム形式で参加者とともに考えていく。	日野社会教育センター301・302研修室	2022年11月13日	2022年11月13日	後援	令和4年11月9日
15	Creating Original Opera	オペラ体験してみない? in日野	総合芸術である「オペラ」への関りをおし、学齢期にある子供たちに、より豊かな「表現の可能性」「自立した思考の発現力」などを培うことを目指した事業を企画・開催する。	ひの煉瓦ホール 小ホール	2023年1月8日	2023年8月20日	後援	令和4年11月21日
16	公益財団法人社会教育協会日野社会教育センター	発達かあさん講演会 あっくんとお母さん発達子育て奮闘記	発達障がいのご家族をお持ちの方、発達障がいについて知りたい方への学習機会とする。また、日野社会教育センターを知っていたら、今後もお子さんや親御さん、市民の皆さんの必要な機会に利用いただけるようにするため。	Tree HALL(ツリーホール)	2023年1月28日	2023年1月28日	後援	令和4年11月21日
17	たまだいら文化の森	クリスマス音楽祭《2人のピアノ演奏会》	日野市及び周辺地域での文化・芸術・教育活動を企画・開催し、同地域での文化・芸術・教育活動を推進・支援する活動を行う。クリスマスに平和を願い、ウクライナの作曲家を中心としたピアノ演奏と、国際的に活躍するピアニストによる演奏を行う。	Tree HALL(ツリーホール)	2022年12月25日	2022年12月25日	後援	令和4年11月21日
18	一般財団法人日本リーダー育成推進協会	「子どもの潜在能力を引き出す脳科学」講座	最新の心理学・脳科学に基づいた「子育てに対する向き合い方」をはじめ、「子どものセルフイメージを高めるポイント」などについてお伝えすることで、新型コロナウイルスを含む社会情勢の変化による、保護者の不安や、子育てへの負担を軽減する一助とする。	オンライン講座	2023年6月14日	2023年6月18日	後援	令和4年12月7日
19	八王子市ボウリング連盟	第26回 初心者向け 健康ボウリング教室	ボウリングの普及と地域の皆様の健康促進を図ること	SAP日野ボウル	令和5年1月25日	令和5年3月16日	後援	令和4年12月15日
20	社会福祉法人東京光の家	第26回手さぐりの作品展 ～みんなのSDGs 希望～	視覚障害と他の障害を併せ持つ重複障害者と知的障害者が製作した感性豊かな作品の数々を、広く一般の方々に手に触れてご鑑賞いただき、障害の理解につなげる。SDGsのコンセプトである“地球上の誰一人取り残さない”、地域共生社会実現へ向けた取り組みとする。	イオンモール多摩平の森3F イオンホールA	令和5年2月17日	令和5年2月19日	後援	令和4年12月15日
21	いきいき・ふれあい塾	日野市モーニング・フォーラム	市民のために開かれた生涯学習の場	日野市商工会館 3Fホール	令和5年1月22日	令和5年12月17日	後援	令和5年1月11日

令和4年度 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告(10月～3月)

22	特定非営利活動法人フラッグフットボール・マネジメント・ジャパン	フラッグフットボール体験会	フラッグフットボール体験の機会を提供することにより社会教育及び地域スポーツの発展に寄与する。フラッグフットボールの普及。	中央大学ラグビー場	令和5年2月7日	令和5年2月14日	後援	令和5年1月11日
23	多摩西部朝日会	佐藤ママオンライン講演会	日野市の小学生の新聞を活用した学力UPを目指す。	YouTube Liveによるオンライン開催	令和5年2月16日	令和5年2月16日	後援	令和5年1月25日
24	キッズマネースクール くまさん校	キッズマネースクール	小学生親子を対象とした金銭教育	生活保健センター	令和5年3月5日	令和5年3月5日	後援	令和5年1月25日
25	公益財団法人 社会教育協会	第4回リーダーズフォーラム(合同研究発表会)	日野社会教育センターの事業でボランティアとして活躍する学生リーダーをはじめ、地域でつながりのある学生・若者が携わる卒業研究等の研究活動を報告し合い、地域住民や社会教育関係者を交えた学び合いの場とする。同時に、当協会附属「市民の社会教育研究所」における人的つながりを広げ、協会が実施する事業等にフィードバックする。	日野社会教育センター301・302研修室	令和5年3月21日	令和5年3月21日	後援	令和5年2月15日
26	どうぶつ愛護活動隊Kyuuen	春休み企画！親子で学ぶ命のこと「小さな命の写真展IN日野」	動物愛護精神の普及啓発活動を通じ、人と動物が共生する社会を実現する	明治安田生命保険相互会社八王子支社 日野高幡営業所2階	令和5年3月23日	令和5年3月28日	後援	令和5年3月1日
27	公益財団法人社会教育協会 日野社会教育センター	こどもの大切なおうちの話～今、伝えたい舌と歯並びと呼吸～	歯並びは見た目だけととられがちですが、身体は全てつながっており、歯並び舌の位置、呼吸と健康に大きくかわってきます。小さなうちから気にかけていくことで一人でも多くのお子さんから大人までが健康でいられるように実施します。	Tree HALL(ツリーホール)	令和5年5月21日	令和5年5月21日	後援	令和5年3月1日
28	一般社団法人バスケットボール女子日本リーグ	第24回Wリーグプレーオフ2022-2023 セミファイナル・ファイナル	Wリーグ年間チャンピオンを決定する。プレーオフのセミファイナル(4チーム参加)とファイナル(決勝戦)を実施。いずれも2勝をあげたチームが勝利	武蔵野の森総合スポーツプラザ メインアリーナ	令和5年4月8日	令和5年4月17日	後援	令和5年3月7日
29	たまだいら文化の森	どやどや音楽祭	日野市及び周辺地域での文化・芸術・教育活動を企画・開催し、同地域での文化・芸術・教育活動を推進・支援する活動を行う。日野市内で活躍する演奏家を含む「どやどや楽団」によるマリンバなどの打楽器音楽祭を実施する。	Tree HALL(ツリーホール)	令和5年4月23日	令和5年4月23日	後援	令和5年3月14日
30	NPO法人 日野子ども劇場	ミュージカル「すてきな三にんぐみ」	鑑賞例会を通じて子どもや大人の豊かな感性を育てる	ひの煉瓦ホール 小ホール	令和5年6月4日	令和5年6月4日	後援	令和5年3月20日
31	ヒーリング・ミュージック研究会「ハーモニー」	東日本大震災復興支援「ハーモニー」チャリティコンサート	気仙沼「ひまわり号を保存する会」への寄附	平山小学校	令和5年3月11日	令和5年3月11日	後援	令和5年3月7日
32	公益社団法人スコール家庭教育振興協会 武蔵野地区実行委員会	スコール家庭教育講座「子どものやる気を引き出すママになる！」	子育てに大切な原理原則をお伝えし、実生活に役立てて頂く	リオンホール(cocobunji west 5階)	令和5年6月6日	令和5年6月6日	後援	令和5年3月14日

令和4年度 日野市教育委員会後援等名義使用実績報告(10月～3月)

33	NPO法人 VYS YOGI	レインボーヨガ～ハンディキャップのある子ども達と一緒に～	ハンディキャップのある子どもとその家族が一般市民と共にヨガをして、両者の心身の健康維持向上をはかり、互いに理解を深め社会と関わりを持つ場所を提供する。	イオン多摩平の森ホール 他	令和5年5月13日	令和5年2月10日	後援	令和5年3月20日
34	株式会社 マミ	幕末オペラ 新選組外伝『歳三を愛した女』日野公演	新選組結成160周年を記念し、その原点である日野市で新選組の魅力を伝えたい。	ひの煉瓦ホール 大ホール	令和5年6月16日	令和5年6月16日	後援	令和5年3月20日
35	一般社団法人日野青年会議所	第8回 わんぱく相撲日野場所	青少年の健全育成と地域交流	日野市立日野第一小学校	令和5年5月28日	令和5年5月28日	後援	令和5年3月20日
36	NPO法人 日野子ども劇場	～おいでよ！わくわくひろばへ～第11回文化芸術体験ひろば	学校やお稽古事では得られない、非日常の体験をすることで、わくわくドキドキ様々な気持ちを抱くことを大切に。この体験を通して感じた自分の気持ちを他人に伝えたり、体で表現したりすることを大切に。こまやけん玉など様々な伝承遊びをこどもたちに伝えたい。	市民の森ふれあいホール 多目的ルーム	令和5年5月20日	令和5年5月20日	後援	令和5年3月24日
37	一般社団法人 海外国内学校教育支援協会	進学進路相談会	学校情報を一般の小中高生と保護者に提供する。	ホテルエミシア東京立川2階3階	令和5年5月3日	令和5年5月3日	後援	令和5年3月24日
38	一般社団法人Nancy	親子de資産形成アカデミー	ニュースで見た老後2,000万円問題が不安、積み立てNISAやジュニアNISAが話題になっていることをテレビや書籍で見たけど投資がよく分からないし怖い。でもお金のことは早い段階から学んだ方がいい気がする。そんな親子が100円のお小遣いで今すぐ安心して資産形成を始められることを目的とし、その先に「親子がお金を理由を夢を諦めない社会」を目指しています。	オンライン配信	令和5年5月6日	令和5年5月28日	後援	令和5年3月29日

	3年度	4年度
10月承認	6件	10件
11月承認	7件	7件
12月承認	4件	3件
1月承認	2件	4件
2月承認	2件	1件
3月承認	7件	13件
合計	28件	38件

	3年度下半期	4年度下半期
スポーツ	5件	4件
音楽・美術	3件	5件
講演会	7件	14件
イベント	13件	15件
その他	0件	0件
合計	28件	38件